



# と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

4月1日よりホームページが移転・リニューアルしました。ブックマークの変更や再登録をお願いします。



高岡市立戸出東部小学校  
令和5年11月14日発行



## 実りの秋

校長 吉田 真寿美

戸出東部小学校は、令和4・5年度の2年間、「富山県小学校教育研究会 生活科・総合的な学習の時間 県西部研究推進校」として研究を進めてきました。去る11月8日（水）の研究集会で60名余の先生方に2年生と5年生の授業を公開しました。富山県教育委員会、高岡市教育委員会等から来賓の方々も多数来校されました。明るく光の差し込むきれいな校舎、素直で元気な子供たち、笑顔と優しい言葉があふれる先生たち…参加者からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



2年生は、スマイル大作戦5「つくってあそぼう うごくおもちゃ」の学習を公開しました。

10月下旬、この学習のスタートは先生の作ってきた「うごくおもちゃ」を見せてもらい、遊ばせてもらったことでした。子供たちは、すっかりおもちゃに魅せられてしまいました。そして「あの面白いおもちゃを、自分の手で作りたい！」という願いをもった子供たちが、身近な材料を使っておもちゃ作りを始めました。完成したら、遊んでみたくになります。友達と一緒に遊んだり競争したりすると、一人で遊ぶよりもっと楽しいと感じた子がたくさんいました。でも中には、「ロケットがちっとも飛ばない」「車のタイヤがすぐに外れてしまう」と困ったり悩んだりしている子もいました。

「自分だけ楽しかったらそれでいいのかな?」「うまくいかないから、もうやめた、それでいいの?」先生たちは、子供たちに気付いてほしいこと、乗り越えてほしいことが届くように言葉をかけます。子供たちの願いは、自分もスマイル、友達もスマイル、みんなスマイルになりたいという大きなものになっていきました。そして、どうしたらおもちゃをパワーアップさせられるか考え、作っては試し、友達のおもちゃと比べ、時には先生や友達の助けを借りてもやり遂げようとするようになりました。

研究集会当日は、明確な願いをもち、それに向かって追究し、友達と学び合いさらに追究を深めるという子供たちの姿を見ていただくことができました。

5年生は、5月のゴールデンウィーク過ぎから、「戸出の町の安全を守り隊!!」というテーマで学習を進めてきました。

連休中の能登の地震や、7月の高岡市内の大雨・浸水など、災害を身近に感じる出来事が次々起こり、ニュース等で見聞きすることも多くなったこともあり、子供たちは災害を自分事と捉え、熱心に取り組みました。また、様々なゲストティーチャーとの出会いや校外学習等での学びの機会を積極的に取り入れたことで、子供たちはどんどん本気度を増し、災害についての知識を増やしていきました。子供たちが実際に防災リュックを準備したり、避難経路を歩いてみたり、マップやタイムラインを作成したりする活動を重ねていくことで、家族の皆さんの意識を変える力を生みました。さらに、地域の方々の命も守りたいと、子供たちの思いはどんどん膨らんで、誰かのために行動することのできる心の育ちを感じます。



また、子供たちはこの学習で学習専用端末をさらに効果的に使いこなすようになりました。写真や動画を撮影することはもちろん、調べたことを発表するためのプレゼンの作成、学習の振り返り等の入力も当たり前のようにやってのけます。学習専用端末を活用し、友達の取組や考えに即座にふれ、自分の考えと比べたり自分の取組のヒントにしたりしながら追究を深めていくという、これからの学びのスタイルのモデルを多くの先生方に発信することができました。

研究推進校となって以来、全ての教員がこの機会をプラスにとらえ、心と力を合わせて取り組みました。その取組が大きな実を結んだ研究集会になりました。この成果をこれからの戸出東部小学校の教育活動に生かし、東部っ子のさらなる成長を目指していきたいと思っています。

